

**IPCC 第 6 次評価報告書第 1 作業部会報告書（自然科学的根拠）**  
**日本からの執筆者等**

第 1 章（構成、背景、手法）

LA 江守 正多 国立環境研究所 地球システム領域 副領域長  
 RE 安成 哲三 人間文化研究機構  
 総合地球環境学研究所 名誉教授/顧問（前所長）

第 3 章（人間が気候システムに及ぼす影響）

LA 小坂 優 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授

第 4 章（将来の世界の気候：シナリオに基づいた予測及び近未来に関する情報）

RE 木本 昌秀 国立環境研究所 理事長

第 5 章（地球規模の炭素と他の生物地球化学的循環及びそのフィードバック）

LA 石井 雅男 気象庁気象研究所 研究総務官  
 LA Patra Prabir K. 海洋研究開発機構 地球環境部門地球表層システム  
 研究センター物質循環・人間圏研究グループ  
 グループリーダー代理

第 6 章（短寿命気候強制因子）

RE 金谷 有剛 海洋研究開発機構 地球環境部門 地球表層システム  
 研究センター センター長/上席研究員

第 7 章（地球のエネルギー収支、気候フィードバック、及び気候感度）

LA 渡部 雅浩 東京大学 大気海洋研究所 教授

第 10 章（世界規模と地域規模の気候変化のつながり）

LA 高薮 出 気象庁気象研究所  
 気候・環境研究部第 1 研究室 主任研究官

第 11 章（変化する気候下における気象及び気候の極端現象）

LA 佐藤 正樹 東京大学 大気海洋研究所 教授

※ LA：主執筆者。統括執筆責任者（CLA）の下、特定の節の作成を担当する。

RE：査読編集者。査読コメントが LA らによって適切に検討・処理されているか確認する。